

製品名: AF-10 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06656**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	109kDa

抗原情報

遺伝子名	MLLT10
別名	MLLT10; AF10; Protein AF-10; ALL1-fused gene from chromosome 10 protein
遺伝子 ID	8028.0
SwissProt ID	P55197
免疫原	抗血清はヒト AF10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

背景

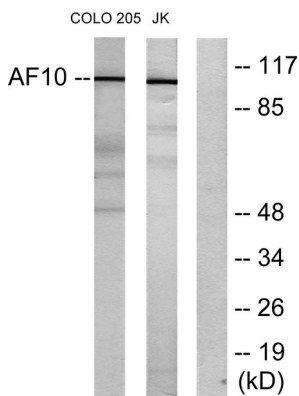
骨髄性 / リンパ性または混合系白血病; 転座あり, 10(MLLT10) Homo sapiens この遺伝子は転写因子をコードし、様々な白血病を引き起こすいくつかの染色体再編成に関与するパートナー遺伝子として同定されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームを

コードする複数の転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2010年9月]、疾患: MLLT10に関連する染色体異常は、急性白血病と関連しています。MLL/HRX との転座 t(10;11)(p12;q23)。その結果、異常な活性化タンパク質が生成されます。、疾患: MLLT10に関連する染色体異常は、びまん性組織球性リンパ腫と関連しています。 PICALM との転座 t(10;11)(p13;q14)。、PTM:DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。、類似性:2つの PHD 型ジンクフィンガーを含む。、組織特異性:精巣に豊富に発現する。、

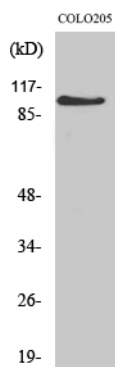
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

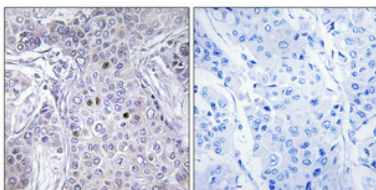
画像データ



COLO205 細胞および Jurkat 細胞のライセートを AF10 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



AF-10 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット解析した。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。